

小説の登場人物名における音象徴

—卒業制作の登場人物名分析から—

中島 紀子

1. はじめに

特定の音から特定の意味やイメージに直接結びつく現象を音象徴と呼ばれるが、学部生にはその現象に対する意識があるだろうか。本稿では、卒業制作に取り組む4年生が自らの作品における登場人物にどのような名前をつけたのか、自作理論に記述された登場人物の名前をデータとして抜き出し分析する。音声学などの授業が設けられていない学科の文芸コースの学生が付けた登場人物の名前に、日本語における音と意味の有縁性が見られるか検証する。

2. 先行研究

2.1 音象徴に関連する研究

数多くの先行研究が存在するが、ここでは、後の調査に関連するものの中から一部を挙げる。

2.1.1 清濁の印象

小林英雄 (1981) ¹は清濁の印象について以下のように述べている。

(前略) 清音の群と濁音の群とはそれぞれに共通する微妙な語感があり、それによってなんとなく使い分けられているが、その微妙な語感というのをあえて対比的に表現してみれば、おおよそつぎのようなことになるであろう。

清音—— 弱い 細かい 美しい 快い 軽い
軽快 上品……

濁音—— 強い 粗い 汚い 不快 重い
鈍重 下品…… (p.75)

2.1.2 日本人の名前の男女差

六川 (2005) ²では、「日本語を例にとると、日本語母語話者は初めて耳にする日本人の名前でもそれが男性か女性かを高確率で言い当てる事ができるが、この事実は日本人の名前に用いられている音、或いは音の組み合わせに男女の名前を決定づける要素、つまり音と意味の有縁性があることを示している」とあり、

過去82年分の新生児の名前のデータを基に分析し、(1) 最終音節の種類、(2) 重音節の有無、(3) 拗音の有無、(4) 第一音節の種類、(5) 名前の長さ、という日本人の性別を決定している5つの音韻的要素を導き出している。(p.309)

また、音と意味の有縁性に関する代表的な先行研究として金田一 (1978, 1988) や牧野 (1999) などを挙げている (p.310)。金田一 (1978) ³によれば、

一般の子音では、kt は堅いことを表し、s は摩擦感のあることを、r は粘って滑らかなこと、hp は抵抗感のないことを、m はやわらかいことを表す。r は流動を表すが、同時に他の形態素と組み合わせられて、種々の状態を表し、擬音語・擬態語では重要な役を帯びる。(p.20)

とされ、さらに、金田一 (1988) ⁴では以下のように分析している。

カ行音は、乾いた感じ、サ行音は快い、時に湿った感じ、タ行音は強く、男性的な感じ、ナ行音はねばる感じ、ハ行音は軽く、抵抗感のない感じ、マ行音はまるく、女性的な感じ、ヤ行音はやわらかく、弱い感じ、ワ行音はもろく、こわれやすい感じがある。(pp.131-132)

牧野 (1999) ⁵にも以下の記述がある。

(前略) 女の子の名前に口蓋音がある場合(「楓」)はあるが、男の子の名前の第1音節に鼻音が一切来ていない。暖かい、共感度の高い鼻音が女の子の名前に多く使われるのも音と意味の有縁性を物語っているのだ。(p.5)

外山 (2015) ⁶の分析は以下のとおりである。

(前略) とくに、命名者の絶対語感に変化がはっきりとみられるのは、女の子につけられる名前です。(中略) 戦前に多かった女の子の名前は [i] の

音と〔u〕の音が目立つのです。これは、(中略)偶然ではありません。このような名前によって、かわいらしさ、ほっそりした、小さいことなどを象徴しているのです。(中略)

これが、現代の親たちの世代の絶対語感です。つまり、文字の意味を中心に考えてきた命名から、音を中心に考える命名へと変化してきたわけです。若い世代の絶対語感は、耳のこぼを優先するようになってきているといえるでしょう。

おもしろいことに、女の子の名前にくらべ、男の子の命名は、伝統的で、いまだに意味中心につけられることが多いようです。(中略)いずれにしても、男の子の名前は、女の子とは違って、音声とは縁がうすく、「目のことば」をもとにしています。(pp.156-162)

2.1.3 阻害音と共鳴音

川原 (2015) ⁷では、先行研究における音象徴の実験結果などが数多く紹介されており、「女性の名前に関しては、子音の影響もあることがわかりました。(p.15)」とある。

日本語でも「阻害音=角ばったイメージ=男性的」「共鳴音=丸いイメージ=女性的」という音象徴パターンが存在すると言えるでしょう。(p.17)

また、メイドカフェのメイドさんに関しては、その実験結果が直接当てはまらず、以下のように他の要素が検証された。

(前略) 実験の結果、「共鳴音が使われたメイド名=萌メイド」「阻害音が使われたメイド名=ツンメイド」という相関が見つかりました。つまり、メイドさんの頭の中で「共鳴音=萌え」という連想が起り、それがメイド名の付け方に影響を及ぼしているかもしれないことがわかったのです。(pp.18-19)

2.1.4 学部生の研究

川原の音象徴に関するさまざまな研究を基に、「プリキュア」シリーズに登場する敵(悪)と味方(正義)の名前の阻害音と共鳴音および有声性に関する分析、「遊戯王 OCG デュエルモンスターズ」に登場するモンスターの名前の子音とモーラ数についての分析、全890種類の「ポケットモンスター」における有声阻害音と無声両唇破裂音に関する分析、「サンリオ」のキャラクター名における両唇音の分析、赤ちゃん用粉ミルク

クに関する両唇音の分析など、さまざまな興味深い研究が行われている⁸。

2.2 作中の日本人の名前に関する研究

寿岳 (1979) ⁹によれば、

(前略) 作家は、自分の作品でいかに作品中の人物に与える名に思いをかけるのだろうか。それなりに考慮は払われているのであろうが、おそらく次のようなタイプにわかれるのだろう。

- 1 大そう気を使って、しかもその気の使いようをあらわに出す人
- 2 気は使うが「苦心の作」というような雰囲気を抑えこんでしまう人
- 3 比較的無関心で、そこいらにあるのをひよいと借りてきて間に合やす人

(中略) 要するに、1, 2, 3, いずれのタイプにしろ、やはり物書きの人々は「名」が作中で果す役割をよく心得ていて、ミスをすることはしないのだ。(p.219)

また、小説の名づけについては、佐竹 (1976) ¹⁰に好論文があると紹介しており、以下の記載がある。

(前略) 小説家が名づけるのは赤ん坊から老人まで種々雑多の人間であり、小説家の頭の中で性格や地位、境遇や運命を与えられた人物である。しかも、小説家は一度に何人もの名前を考えなければならぬ。多い人では毎月十人分、二十人分もの名づけをしている。(p.30)

小説家がどのような意識をもって登場人物の名づけを行っているのかについては、以下のように分析している (p.36)。

曾野綾子「小さな理由」(小説新潮)では「門脇富治・せつ子」という夫婦が出てくる。その娘たちの名前は「富子・治子」である。それぞれ父親の名前から一字ずつとった名前であるが、現実にもこのような名づけ方はしばしば行われており、家族らしさをあらわした名づけ方と言えよう。また、三浦朱門「替え玉」(小説新潮)には「健(タケシ)・康(ヤスシ)」の二人の兄弟が登場する。さらに、この小説では、兄弟の父親が「若い時に病弱だったとかで、二人の息子に、健康という言葉を二つに分けて」名づけたと、その由来が書かれている。親の願いを子に託す名づけ方も、世間では一般的

である。ちょうど都合よく子供が男二人であったというのは、小説ならではのことであろうが、名づけの由来まで説明されていることは余りないが、小説家はやはり現実の社会での名づけ方に準じて、登場人物の名前を考えているようである。

実際、今年の卒業制作の名づけにも以下の記述があり、作中における名づけには、佐竹の指摘どおり、しばしば現実が反映されていることがわかる。

沢木誠二：主人公、誠が死別した父。親子関係を意識して、誠二から一文字取って主人公の名前とすることを思いついた。(学生 S.S の卒業制作自作理論より)

私たちの光であり、輝きのある人生を送って欲しいという思いから『光輝』という名前を付けた。(学生 M.O の卒業制作本文より)

3. 調査

3.1 音象徴に関する調査

卒業制作の分析に入る前に、これまでに行われてきた音と意味のつながりに関する実験を、学部生を対象に行った。調査内容は、1) 心理学者ヴォルフガング・ケーラー (Wolfgang Köhler) の/maluma/か/takete/かの実験¹¹、2) 人類学者 / 言語学者エドワード・サピア (Edward Sapir) の/mal/か/mil/かの実験¹²、3) 脳科学者ラマチャンドラン (V. S. Ramachandran) のブーバ・キキ効果 (/bouba/か/kiki/か) の実験¹³、4) と 5) については、川原 (2017)¹⁴ を引用した。

1) から 3) については、ある言語において、どちらの語がどちらの形を表す語だと思えるかを選択、4) に関しては、どちらの名前がおっとしていて、どちらの名前がキリっとしているかをたずねると同時に「メイド喫茶で、おっとりしている萌えキャラが右で、キリっとしているツンキャラが左ですね。」と伝えながら、著書の帯についている絵をイメージとして見せた。

調査は、2023年1月10日から13日の間に、学年別に開講している授業の中で、1年生から4年生までそれぞれを対象として実施した。その結果、出席者117名のうち全ての問いに答えた115名の有効回答が得られた。

分析の結果は、資料1のとおり、1) と 3) の調査では、高い確率で丸っこい図形を/maluma/また/bouba/を選択し、2) では、大きいテーブルに/mal/を、小さいテーブルに/mil/を名づけた。4) においても、テ

ブルの選択より高い確率で、ツンキャラをサタカ、萌えキャラをワマナと答えた。5) は複数回答だったが、ゴジラがコシラと清音になった場合、「弱い、小さい、かわいい、優しい、子どものよう、柔らかい」とほぼ100%の回答があった。

これらの結果から、多くの学部生は無意識のうちに、音象徴的な感覚を持っているものと言える。

3.2 卒業制作における音象徴

2020年度から2022年度までに担当したゼミ生23名の卒業制作に登場した人物に関して、自作理論の中で、作品の筆者本人が、主人公または主要な登場人物だとして明記した人物の名前を分析対象とする(資料2)。今回は、先行研究で見てきたとおり、男性の名前に関しては、伝統的で、意味中心につけられることが色濃く残っている可能性があり、子音の影響が少ないことが考えられるため、分析対象は女性の名前とした。また、作品によっては、現実社会から離れた架空の世界を描いているものもあり、その中で、おおかみ、もぐら、りすなどの実在する動物の名前を採用しているものに関して対象外とした。さらに、女性の登場人物の中で、苗字のみの記載、あるいは外国人名であると明記されているものも割愛し、日本語における音と意味の有縁性が見られるかを分析した。

3.2.1 考察

分析対象である51名の女性登場人物の名前を分析した結果、いくつかのことが明確になった。

1) 女性の登場人物の名前の語頭子音は共鳴音が多い
51名のうち、語頭子音が阻害音 (/t, s, k, d, z, g, p, b/) であるケースが17、共鳴音 (/m, n, r, w, y/) であるものが23(その他、母音で始まる11の名前のうち、前舌母音が4、後舌母音が7) であった。

2) 名前の中の子音は共鳴音の数が多
全名前の子音の数を確認すると、阻害音が50(48.5%)、共鳴音が53(51.5%)あり、わずかに共鳴音の方が多かった。これは、川原(2017, p.44)で言われていることが登場人物にも反映される結果だと言える。

3) 阻害音と共鳴音の対立

登場人物が対照的またはライバルなどの立場で位置づけられている際に、名前語頭にくる子音に阻害音と共鳴音の対立が見られる。

例1 ゆあ(共鳴音) としぐれ(阻害音)

例2 なつみ(共鳴音) とさな(阻害音)

例3 まあな (共鳴音) としおり (阻害音)

例4 レイナ (共鳴音) とカンナ (阻害音)

4) その他

①母音で始まる名前

川原 (2017, p) によると、/i/ /e/ は小さいイメージ、/a/ /o/ /u/ は大きいイメージであるが、語頭に/i/ がつく名前に「いちこ」と「イツキ」が登場し、怖がり、自信がないなどの性格に共通点をもつ主人公であった。いずれも複数の主人公がいる話の中で、他の主人公はそれぞれ「ゆり」「さきの」、「マツリ」「ハツネ (男子高校生)」であるのに対し、語頭に小さいイメージの母音が使われているのは興味深い。

②アイドルの名前

アイドルが登場する作品が一つあり、三人のアイドル名が登場する。一人は、不破汐利 (しおり) で、語頭子音は阻害音、アイドル活動に関してはストイックで真面目なタイプである。二人目は、加瀬彩 (あや) で、語頭は後舌母音、汐利とは活発な性格が正反対の設定である。最後に、向井茉愛奈 (まあな) の語頭子音は共鳴音で、アイドルというものに対する姿勢が汐利とは正反対の登場人物である。向井茉愛奈の本名も安海真那 (まな) で語頭子音は共鳴音である。ぶりっ子的な愛嬌を振りまく承認欲求が強いタイプで、愛称はマナナンで、全ての子音が共鳴音である。筆者によると、茉愛奈は汐利との対立構図で、男が騙されやすそうな、表では可愛く振る舞う女というイメージだということだ。

筆者は意図していないだろうが、これまでに見てきた音象徴を見事に感じられる命名となっている。

③「り」で終わる名前

六川 (2015) ¹⁵によれば、語末に「り」が表れるのは、女性の名前特有の特徴である。卒業制作の中にも、「ゆり」「あいり」「まつり」「しおり」「さり」と5名登場している。

以上、女性の登場人物に焦点を当て、分析し、何らかの規則性があるか見てきたが、いくつかの特徴を見出すことができた。

4. まとめ

本稿では、音象徴的な効果を狙って名づけてはいないであろうゼミ生の創作作品の登場人物名に何らかの規則性を見出すことを目的として調査を行った。その

結果、女性の名前の語頭の子音は、若干ではあったが、阻害音より共鳴音の方が多く、名前全体の子音の数にも同じ現象が見られた。また、物語の中で対照またはライバルなどの立場にいる人物は、それぞれの名前の語頭の子音が阻害音と共鳴音で分かれていることもわかった。その他、小さいイメージをもつ母音で始まる名前の女性は性格的に怖がりであったり、自信がなかったり、男性にはほとんど見られない「り」で終わる名前も多く登場した。今回取り上げることはできなかったが、ファンタジーやSF作品の中に出てくる女性名の語頭子音は、ほぼ阻害音であったことから考えると、作品のジャンルによる傾向も調べる必要があると思う。

今回得た結果は、今後ゼミ生が作品の登場人物に名づける際の参考となるだろう。

音象徴を考える上で、オノマトペとの関連性を抜きにすることはできないだろう。文章を書く上で、オノマトペを使いすぎると文章が幼稚になることが多い、と言われるが、浜野 (2014) ¹⁶によると、

口蓋化された子音を含むオノマトペは、「子どもっぽい落ち着きのない動き、雑多な音 (をたてる運動) や安っぽさ、品のなさ」を表すものが多い。
(p.138)

とある。今後は、単にオノマトペの多用が悪いというのではなく、特定のオノマトペの多用が文章に幼さを加える可能性についても探っていきたい。

〈注〉

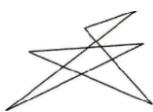
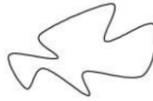
- (1) 小林英雄 (1981) 日本語の世界7『日本語の音韻』中央公論社 p. 75
- (2) 六川雅彦 (2005) 「日本人の名前に見られる音韻的性差」南雅彦編『言語学と日本語教育IV』pp. 309-320 くろしお出版
- (3) 浅野鶴子編・金田一春彦解説 (1978) 「擬音語・擬態語辞典」角川書店 pp. 3-25 において、「七 擬音語・擬態語の音と意味との関連」の中で述べている。
- (4) 金田一春彦 (1988) 『日本語 上』岩波書店 pp. 131-132 「母音の感じ」の中で触れられている。
- (5) 牧野成一 (1999) 「音と意味の関係は日本語では有縁か — 鼻音 vs. 口蓋音と文法形式のケーススタディ」アラム佐々木幸子編『言語学と日本語教育』pp. 1-32 くろしお出版
- (6) 外山滋比古 (2015) 『日本語の絶対語感』大和書房
- (7) 川原繁人 (2015) 『音とことばのふしぎな世界』岩波書店の第1章において、音象徴の先行研究における実験について

- 多くの事例を挙げている。
- (8) 全て日本認知言語学会発行『日本認知言語学会論文集』第21号に収められている。
市原祿朗 (2021) 「遊戯王OCGデュエルモンスターズにおける子音とモーラ数の音象徴」 pp. 469-472
清水拓夢 (2021) 「ポケットモンスターにおける有声阻害音・無声両唇破裂音の音象徴」 pp. 473-476
鈴木沙英 (2021) 「サンリオのキャラクター名における両唇音の音象徴」 pp. 477-480
平原豪・熊谷学而 (2021) 「赤ちゃん用粉ミルクにおける両唇音の音象徴」 pp. 481-485
熊谷学而 (2021) 「事例研究の講評」 pp. 486-488
- (9) 寿岳章子 (1979) 『日本人の名前』大修館書店において、日本人にとっての名づけについて深い考察があり、これまでの名づけの歴史を振り返ることができる。
- (10) 佐竹秀雄 「小説にあらわれた人名」『言語生活』1976年11月号 pp. 30-37
- (11) Wolfgang Köhler (1947 [1929]) Gestalt Psychology: An Introduction to New Concepts in Modern Psychology (Rev. ed.). New York: Liveright
- (12) Edward Sapir (1929) A study in phonetic symbolism Journal of Experimental Psychology, Vol 12(3), Jun 1929, pp. 225-239
https://pure.mpg.de/rest/items/item_2381142_3/component/file_2381141/content
- (13) V. S. Ramachandran&E. M. Hubbard (2001). Synaesthesia: A Window Into Perception, Thought and Language. Journal of Consciousness Studies. 8, pp. 3-34.
<http://chip.ucsd.edu/pdf/Synaesthesia%20-%20JCS.pdf>
- (14) 川原繁人 (2017) 『「あ」は「い」より大きい?!——音象徴で学ぶ音声学入門』ひつじ書房
- (15) 六川雅彦 (2015) 「日本人の名前と性別—「セイヤ」の男性性と「シホ」「ユーリ」「キヨ」の女性性—」西原哲雄・田中真一編『現代の形態論と音声学・音韻論の視点と論点』pp.160-174 開拓社
- (16) 浜野祥子 (2014) 『日本語のオノマトペ音象徴と構造』くろしお出版 p. 138
- 川原繁人 (2017) 「ドラゴンクエストの呪文における音象徴—音声学の広がりを目指して—」『音声研究』第21巻第2号 pp. 38-42
https://www.jstage.jst.go.jp/article/onseikenkyu/21/2/21_38/_pdf/-char/ja
- 川原繁人・桃生朋子 (2017) 「音象徴の言語学教育での有効利用に向けて—ウルトラマンの怪獣名と音象徴—」『音声研究』第21巻第2号 pp. 43-49
https://www.jstage.jst.go.jp/article/onseikenkyu/21/2/21_43/_pdf/-char/ja
- 川原繁人 (2022) 『言語学者、外の世界へ羽ばたく』コトバ双書
川原繁人 (2022) 『音声学、娘とことばの不思議に飛び込む』朝日出版社
- 熊谷学而・川原繁人 (2019) 「ポケモンの名付けにおける母音と有声阻害音の効果—実験と理論からのアプローチ—」『言語研究』第155巻 日本言語学会 pp. 65-99
https://www.jstage.jst.go.jp/article/gengo/155/0/155_65/_pdf/-char/ja
- 熊谷学而・川原繁人 (2020) 「音韻素性に基づく音象徴—赤ちゃん用のオムツの名付けにおける唇音—」『言語研究』第157巻 日本言語学会 pp. 149-161
https://www.jstage.jst.go.jp/article/gengo/157/0/157_149/_pdf/-char/ja
- 篠原和子・川原繁人 (2013) 「音象徴の言語普遍性—「大きさ」のイメージをもとに」篠原和子・宇野良子編『オノマトペ研究の射程—近づく音と意味』pp. 43-56 ひつじ書房
- 田守育啓&ローレンス・スコウラップ (1999) 『オノマトペ—形態と意味—』柴谷方良・西光義弘・影山太郎編「日英語対照研究シリーズ (6)」くろしお出版
- 田守育啓 (2002) 『オノマトペ—擬音・擬態語をたのしむ』岩波書店
- 角田忠信 (1978) 『日本人の脳』大修館書店
角田忠信 (2019) 『日本語人の脳』言叢社
都田青子・田中真一編 (2021) 『音声学・音韻論と言語学諸分野とのインターフェイス』開拓社
- 六川雅彦 (2022) 「日本人の二軽音節名と性別に関するアンケート調査」『アカデミア. 文学・語学編』第111号 南山大学 pp. 157-177
https://nanzan-u.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=3974&item_no=1&page_id=13&block_id=21
- 村上宣寛 (1980) 「音象徴をめぐる諸問題」『富山大学教育学部紀要』28巻 pp. 69-80 富山大学教育学部
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390853649822046848>
- V. S. ラマチャンドラン, 山下篤子訳 (2013) 『脳のなかの天使』角川書店

参考文献

- 秋田喜美 (2022) 『オノマトペの認知科学』新曜社
- 石川知夏・小林哲生 (2022) 「日本語1モーラ音に対する丸さ—鋭さ評定: ブーバ/キキ効果に関連する子音の分析」『認知科学』第29巻第4号 pp. 549-556
- 大野晋 (1994) 『日本語の起源』岩波新書
- 窪菌晴夫 (2008) 『ネーミングの言語学—ハリー・ポッターからドラゴンボールまで—』開拓社
- 黒川伊保子 (2004) 『怪獣の名はなぜガギゲゴなのか』新潮新書

調査結果（有効回答：計 115 名）※回答者は他学科 6 名以外は全て表現文化学科所属の学生対象

1)左側の図形にどちらを選んだ？		/takete/	/maluma/	
	1年	1名 (1.9%)	53名 (98.1%)	
	2年	1名 (3.1%)	31名 (96.9%)	
	3年	1名 (4.8%)	20名 (95.2%)	
	4年	0名 (0%)	8名 (100%)	
	計	3名 (2.6%)	112名 (97.4%)	
2)大きいテーブルにどちらを選んだ？		/mil/	/mal/	
大きいテーブル	1年	12名 (22.3%)	42名 (77.7%)	小さいテーブル
	2年	8名 (25%)	24名 (75%)	
	3年	5名 (23.8%)	16名 (76.2%)	
	4年	1名 (12.5%)	7名 (87.5%)	
	計	26名 (22.6%)	89名 (77.4%)	
3)左の図形にどちらを選んだ？		/kiki/	/bouba/	
	1年	50名 (92.6%)	4名 (7.4%)	
	2年	32名 (100%)	0名 (0%)	
	3年	18名 (85.7%)	3名 (14.3%)	
	4年	7名 (87.5%)	1名 (12.5%)	
	計	107名 (93.0%)	8名 (7.0%)	
4)ツンキャラにどちらを選んだ？		サタカ	ワマナ	
キリっとしている ツンキャラ	1年	46名 (85.2%)	8名 (14.8%)	おっとりしている 萌えキャラ
	2年	25名 (78.1%)	7名 (21.9%)	
	3年	18名 (85.7%)	3名 (14.3%)	
	4年	7名 (87.5%)	1名 (12.5%)	
	計	96名 (83.5%)	19名 (16.5%)	
★どちらが優しそう？		14名 (12.2%)	101名 (87.8%)	

5)「ゴジラ」が「コシラ」だったら、イメージはどう変わりますか？

弱そう・弱々しい 64

小さそう・小さくなる 37

強くなさそう・強いイメージがなくなる 34

かわいい・カワイイ・可愛い 11

優しそう・優しいイメージになる 11

子どものよう 10

その他、柔らかそう 5・ゆるキャラっぽい 3・白っぽい 2 など

※調査については、1年生 54名（表現文化学科 48名＋他学科 6名）社会の探究「SNSと言語技術」にて2023年1月10日実施／2年生 32名「表現文化研究C（文芸）」にて同1月13日実施／3年生 21名「専門ゼミナールⅢ（文芸）」にて同1月13日実施／4年生 8名「リテラリーライティング研究E-2」にて同1月11日実施

登場人物名	語頭	物語上の役割・年齢・性格・特徴など
青春コメディ小説 ※高校生		
竹邊 咲記 (さき)	阻害音	主人公 率直 猪突猛進 柔らかい笑顔
塩沢 小糸 (こいと)	阻害音	冷たい 大人っぽい
稲葉 千春 (ちはる)	阻害音	しっかり者 面倒見がいい 穏やかな人柄
青春小説 ※高校生		
結愛 (ゆあ)	共鳴音	主人公 3年生 引っ込み思案 同級生のしぐれに劣等感を抱く
しぐれ	阻害音	3年生 自分にも他人にもストイック 自他ともに認める努力家 優しい面もある
舞衣 (まい)	共鳴音	部長 一目置かれる存在 すぐに行動に移す行動力
ファンタジー小説 (ヒーロー物語・異世界)		
深山 十和子 (とわこ)	阻害音	主人公 29歳 過去に囚われたまま 家族を大切にす 怒りを燃やして生きている人
早川 佳菜江 (かなえ)	阻害音	29歳 やわらかくて健やかな性格 過保護気味に育てられた
深山 そよ (そよ)	阻害音	十和子の母 享年40歳 (33歳で十和子を出産) 髪色は濃紺 素っ気ない口調 自由奔放
深山 ちか (ちか)	阻害音	靖彦の娘 36歳 語尾を伸ばす癖 まったり ぼやぼやとした少女 楽観的 情が深い
☆イザベラ・外国人	前・母	瑞木の妻 40歳 舞台女優 若々しい スタイルが良い 波立つ豊かな黒髪 華やか 情熱的
ミステリー小説 ※近現代のフランス		
☆リリア	共鳴音	女主人姉 22歳 好奇心旺盛 行動派 直感で行動 母親の理想の人物像を演じる
☆レイラ	共鳴音	女主人妹 22歳 慎重に行動 自分の意見をもたない その生を親に臨まれなかった人間
☆アデル	後・母	二人の母親 幼少期に虐待を受けた人間
☆モニク	共鳴音	アデルの母 夫からDVを受け自己評価が低く、行動力も乏しくなり自己防衛が強く働く
☆ミリー	共鳴音	家政婦 22歳 家は裕福ではない 理想の家族のあり方を実践する
ノンフィクション小説		
うおぬまっこ	後・母	ローカルアイドル
弥生 悠 (ゆう)	共鳴音	若手ソロアイドル 一人で行動するのが苦手
青春小説 ※小学5年生～中学2年生		
佐藤 なつみ (なつみ)	共鳴音	主人公 周囲の顔色を常に窺い、長いものに巻かれ、特別明るくもなく暗くもない中間的
葉山 奈々子 (ななこ)	共鳴音	清楚 みんなの憧れの存在 足が速い 勉強が得意 流行のおもちゃを持っている
砂田 彩加 (あやか)	後・母	不良の女子 カーストの頂点 学校の規則を守らない 制服を着崩す 先輩と繋がりをもつ
浅田 実花 (みか)	共鳴音	醜い容姿 鈍く不器用 いじめを受ける対象 <奈々子とアヤカの対・カーストの底辺>
岡田 沙奈 (さな)	阻害音	自分の想ったことをすぐに口に出したり行動に移したりする <なつみと対照的な存在>
青春ファンタジー小説 (異世界) ※高校生		
守本 千夏 (ちなつ)	阻害音	3年 いつも笑顔で優しい ちょっぴりダークな面もある 愛称「もつ」
恋愛小説 ※高校		
蛭間 三咲 (みさき)	共鳴音	主人公 自身の軟弱性を嫌う 自分も相手も卑下する癖がある 肝が据わっている 胆力もある
八目 ゆら (ゆら)	共鳴音	主人公 真っ白に染めたショート髪 素行不良 臆病な性格 全ての人間を警戒
蛭間 真子 (まこ)	共鳴音	三咲の姉 母代わり 天然気味 基本穏やかな性格 家庭内の仕事を全てこなす
川原 沙弥 (しゃみ)	阻害音	養護教諭 優しい人物 肝心なところで実行に移せない
SF小説 ※近未来の国		
☆エヴァンジェル・ペルペリーベ	阻害音	アンドロイド 美少女 知識・戦闘力ともにハイトやダンを凌駕する性能をもつ
☆エヴァンジェル・バーラ	阻害音	アルシュの妻、48歳 ペルペリーベの母 ※「エヴァンジェル」は苗字 (フランス語の「福音」)
純文学		
杉山 百合 (ゆり)	共鳴音	主人公 24歳 専業主婦 社会で働く同年代に引け目あり 穏やかな性格 平和に過ごしたい
一藤 咲乃 (さきの)	阻害音	主人公 社会人二年目 24歳 ずぼらな性格 仕事を淡々と続けている オシャレ好き 容姿端麗
加瀬 いちこ (いちこ)	前・母	主人公 24歳 イラストレーター 子供好き 太っていて外見に自信なし 化粧やオシャレに興なし
恋愛小説		

安倍 れいあ (れいあ)	共鳴音	主人公 高校2年生 嘘が嫌い、癖のある性格 かなりおしゃれ好き レトルト食品が嫌い
土御門 晶子 (あきこ)	後・母	れいあの母 病弱 思いやりの強い性格 豪胆で活発な性格 れいあと正反対
初瀬 憂 (うい)	後・母	れいあの小学校時代の親友 痛みが敏感 あらゆるものに優しい 異性からかなり好かれるタイプ
純文学		
宮本 愛梨 (あいり)	後・母	主人公 光輝の母 周りの言葉に揺られる 仕事がバリバリでき、職場で慕われる 子供に過干渉
藤川 有紀 (ゆうき)	共鳴音	愛梨を洗脳するママ友 ぱっと見ほんわかしているが自分が正しいと思いついでいる
恋愛小説		
川瀬 サナ (さな)	阻害音	主人公 18歳 高校生 身長150cm程度 メロンパンが好物 クラスに馴染めない
青春小説		
宇津木 マツリ (まつり)	共鳴音	主人公 18歳 進学希望 髪は肩甲骨まで 不変を好む 高校で反抗期 まだ大人になりたくない
音無 イツキ (いつき)	前・母	主人公 17歳 就職希望 髪を耳下で切りそろえている 明るく元気で友人が多いムードメーカー 運動が好き 勉強は嫌い 一人になることに恐怖心をもつ
音無 椎奈 (しいな)	阻害音	イツキの姉 23歳 高校生のときに会った布袋翠と交際していて近々結婚の予定がある
青春ミステリー小説		
ノゾミ	共鳴音	主人公 20歳 長い黒髪 化粧をしたことのない 一見真面目そう 世間体を気にしすぎる 臆病 一貫性がない 妄想好き 家族愛が強い 依存気質 友人は多数いる 深い関係性は築けない
ネオ	共鳴音	主人公 20歳 生まれつき茶髪 染めて明るい茶髪 パーマ 口調が悪い 自己中心的な性格 一匹狼タイプ 一見嫌な印象を受ける 実はいみやつ
N (エヌ)	前・母	ウサギ殺害の犯人 20歳 長い髪三つ編み 顔に三カ所まろくがある 黒目が大きい 華奢な体型 いじめの対象 自己主張が得意ではない 承認欲求が強い一面 動物に対する異様な嫌悪感
ファンタジー小説 (異能)		
不破 汐利 (しおり) 愛称:ふわりー	阻害音	アイドル アイドル活動に関してはストイックで真面目なタイプ 加瀬彩 (かせあや) とは活発な性格が正反対 向井茉愛奈とはアイドルというものに対する姿勢が正反対
向井 茉愛奈 (まあな) マナナン ※本名:安海真那 (まな)	共鳴音	アイドル ぶりっ子的な愛嬌を振りまく承認欲求が強いタイプ 不破汐利との対立構図 男が騙されやすそうな、表では可愛く振る舞う女というイメージもある
SF小説		
アリア (アイカ)	後・母	主人公が愛したアイカのアバター 自己犠牲的性格 天才肌な一面も併せ持つ 冷静な判断ができる
ルナ	共鳴音	レイの従者 元々レイの助手だった女性 優秀な人間
メグミ	共鳴音	アリアの妹
青春小説		
佐藤 栄子 (えいこ)	前・母	主人公 1999年生まれ 黒褐色のボブヘア 丸顔 一重まぶた 目が小さい 団子鼻 身長160cm 体重48kg コンプレックスをもつ 承認欲求が強い、自信過剰な性格
松井 沙梨 (さり)	阻害音	栄子の友人 顔が小さく肌は白い 二重薄茶色の瞳 ストレート黒髪 鼻筋が通っている美人 身長164cm 体重43kg 痩せ型 足が長くスタイルがいい 大学で明るく社交的な性格に変わる
青春小説		
吉尾 凧 (なぎ)	共鳴音	主人公 周囲をよく観察し相手の心情を察するのがうまい 感情の起伏が表に出ない 冷静で理性的
折野 優月 (ゆづき)	共鳴音	なぎの親友
莉子 (りこ)	共鳴音	札幌で出会った姉妹の姉
梓 (あずさ)	後・母	札幌で出会った姉妹の妹
ファンタジー小説		
外崎 レイナ (れいな)	共鳴音	一話の語り部 高校三年生 やや内向的な性格 表舞台に立つことを好まない 現実主義者
内田 カンナ (かんな)	阻害音	レイナの幼馴染 一話の未練代行依頼者 外交的 自由奔放な性格 ロマンチスト
一色 雪美 (ゆきみ)	共鳴音	二話の語り部 OL 26歳 相手を極力不快にさせることなく自身の要求を通すことに長けている

※語頭が母音の場合は調音の観点から「前舌母音=前・母」「後舌母音=後・母」と表記